

# 子供の想像力を豊かにする玩具製作

## 子供のための知育玩具の提案

A2201520 橋本 彩夏

### 研究の背景

現代、多くの幼稚園では子供の年齢に合わせた玩具が、学年ごとに分けて与えられている。特に小学校入学前の子供には、小学校で勉強をする上で役に立つものに関連した玩具を与えて、楽しく遊びながら学ばせている。そこで私は小学校入学前の子供の発想力や想像力に注目して、ひとつの玩具から発想力や想像力を生かして様々な遊びを創造することができる玩具を作成することにした。さらにその作成した玩具を活用して年齢別に与えてみると、どのような反応が見られるのか調査をする。

### 研究の目的

子供の発想力と表現力の育成を目的としている。玩具の特性としては子供たちの想像(創造)力の可能性を成長させるものとする。子供たちには多くの色に触れてもらうため、顔料を混ぜて作成した色漆を用いて、漆独特の“深みのある色”に触れる機会を与える。さらに技法としては、表面には木目を生かすために摺り漆を用いて着色をし、触り心地の違いを感じてもらうために側面には塗りや加飾技法を用いる。さらに、年齢別に制作した玩具で遊ばせ、どのような反応を見せるか、どのように工夫して遊ぶか等を調査する。

### 研究のプロセス

- ・幼児教育学科の葉山先生からお話を伺う・・・現代の幼児教育について学ぶ
- ・若葉幼稚園さんに訪問、木育広場もくれんに訪問・・・実際に子供たちがどのような玩具で遊んでいるのか調査
- ・玩具のデザイン、構造を考える・・・試作を何度も作成し、その度にブラッシュアップを繰り返した
- ・南会津の木製玩具工房等での調査と意見交換
  - ・・・マストロジュペットのデザイナーの富永周平氏に試作品を通して意見を伺いながら木工所も見学し関係者の方々からの意見も玩具制作の参考にした
- ・若葉幼稚園さんで年齢別に玩具の試作体験
  - ・・・実際に玩具で遊んでもらって、子供の反応や遊んでいる様子を参考にブラッシュアップを行う
- ・若葉幼稚園さんで玩具の最終的な調査・・・完成品で遊んでもらい、まとめの参考にする

### 【 製作過程 】



- ・ピース・・・木地切り出し(桐材)木地固め→摺り漆(数回)→錆付け→側面に塗り→側面に加飾
- 収納ケース(家)・・・図案作成→部品切り出し→組み立て→(屋根にだけ)着色

## 成果物(完成作品)

子供の発想力、想像力を成長させるために役立つ玩具 ( ・収納ケース(家) ・ピース…40個 )

### ・収納ケース

見た目は家の形状をしている。煙突の部分は抜き取ることが可能で、ピースの真ん中に開いている穴に通すための部品として使用することができる。なお、差し込んだままでは引っ掛けたり、輪投げをしたりして遊ぶことが可能。側面に開いている穴(窓)には同じ形状のピースを通して遊ぶことが可能。

### ・ピース

ピースの形状は丸、四角、三角、六角の4種で色は10色。表面は木のザラザラとした触り心地だが、側面は漆ならではの滑らかな触り心地になっている。ピースの真ん中には共通で穴が開いていて、その形状は丸や正方形等の形状をしている。遊び方は『積み重ねる』『並べてドミノを作る』『色を利用した見立て遊び』『穴に棒を通して回転させる』『側面の絵合わせ』等々。



【 ピース 】



【 収納ケース(家) 】



## 考察

『知育玩具』といえば、『〇歳の子に向いている玩具』等の年齢に合わせた玩具が多く、既に遊び方が指定されたものが多く存在する。そこで私は、あえて玩具の形状を単純化し必要最低限の追加パーツを加えただけの玩具を作成し、その玩具を年齢別に子供に遊ばせることによって、子供はどのような反応を見せるのか、どのように遊び方を想像して発想していくのかを調査することにした。その調査を通して分かったことは、同じ玩具でも年齢によって遊び方、玩具の見え方が違うということである。まだ幼い子供だと、ピース単体で遊ぶことが多く、集中力もあまり長くないので、すぐに飽きてしまう。しかし年齢が上がるごとに他の追加パーツを駆使して『見立て遊び』『組み立て遊び』等のオリジナルの遊びを想像できるようになっていく。この玩具を通して、『成長によって広がる玩具の可能性』を知ることができた。

